

TOP page

資料室

イベント情報

講師を探す

Worker's 広場

関連リンク

資料室



HOME | 資料室 | 労働組合 | 労働組合 | 教育・宣伝活動 | イベントの進め方

労働組合

労働者福祉・共済

一般教養

組織活動

組織運営と法律

労働安全衛生

経営対策活動

教育・宣伝活動

労働時間をめぐる諸問題

教育活動

選挙活動

組合組織（公務員）

教育カリキュラム

◯ キーワード検索はこちら

イベントの進め方

イベントの進め方

I. イベント開催の目的

イベントは何のために、誰のために、誰が行うものでしょうか？ 言うまで無く組合員の親睦と連帯（仲間意識の向上）をめざして行う行事や集会のことです。

イベント開催は、多くの仲間の協力により、完成する集団的創造活動です。そこに参加することにより、集団の存在や関心・親近感が生まれ、仲間意識と連帯感が生み出され、集団への帰属意識が盛り上がることで、さらに、企画・運営に携わった人達にとっては、創造の喜び、協同の大切さ、達成の充足感をもたらし、人間形成の一役につながります。

II. イベントには、大きく分けて次の2種類があります

1. 記念行事的に行われるもの。例えば、〇〇周年記念式典とか・・・
2. 継続的な活動として行われるもの。例えば、夏祭り、スキー集会とか・・・

III. イベントの標準的進め方

<企画の段階>

- (1) 企画のスタート
- (2) 企画委員会

<準備の段階>

- (3) 実行委員会
- (4) 準備活動

<実施の段階>

- (5) イベントの実施・運営

<検討の段階>

- (6) 事後のフォロー

一人ではできません。担当を決め、日程を決め、分担して進めましょう。リーダーとなる人が、プロデューサーになります。

IV. 商業イベントも利用できます

最近では、イベントを全て請けお業者も出てきました。企画段階から実施段階まですべて請け負う形や、実施段階のみを依頼することなど金銭的には費用がかかりますが手間が省け商業ベースでのイベントもできます。この場合ですと、参加者との一体感や創造の喜びを十分には味わうことができません。自分たちが汗をかくことで組織の強化につながります。

資料に関する解説やサイト内ブックマーク、簡単なクイズもできる無料会員登録のお申し込みはこちらになります。

Worker's Library 会員登録

お申し込みはこちらです。

>>一覧へ戻る

[TOP page](#)

[資料室](#)

[イベント情報](#)

[講師を探す](#)

[Worker's広場](#)

[関連リンク](#)

Worker's Library 静岡で働く人のための資料閲覧サイト
JAPANESE TRADE UNION COFEDERATION DB SITE **【ワーカーズ・ライブラリー】**